

心理学実験2

科目コード	2689146
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	心理学実験2
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	オノ フミノリ 小野 史典 (山口大学准教授) オキバヤシ ヨウヘイ 沖林 洋平 (山口大学准教授)
日程 実施時間	2026年10月17日(土)第1時限 09:30～11:00 2026年10月17日(土)第2時限 11:10～12:40 2026年10月17日(土)第3時限 13:30～15:00 2026年10月17日(土)第4時限 15:10～16:40 2026年10月18日(日)第1時限 09:30～11:00 2026年10月18日(日)第2時限 11:10～12:40 2026年10月18日(日)第3時限 13:30～15:00 2026年10月18日(日)第4時限 15:10～15:55 2026年10月18日(日)試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【山口学習センター】で行います。

【授業内容】

この授業は自分用/パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他(特記事項)】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験の研究を4つ取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に実験者あるいは参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することをめざします。受講生の皆さんは、原則として8回の授業全てに出席し、4つの実験についてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】

心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】

第1回実験1:記憶範囲(小野)
第2回実験1のデータ整理と分析(小野)
第3回実験2:メンタルローテーション(沖林)
第4回実験2のデータ整理と分析(沖林)
第5回実験3:自由再生による記憶の系列位置効果(小野)
第6回実験3のデータ整理と分析(小野)
第7回実験4:要求水準(沖林)
第8回実験4のデータ整理と分析(沖林)

【学生へのメッセージ】

この授業は自分用/パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)のため、ノートパソコンの持参をお願いします。
エクセルの基本操作ができることが望ましいです。

授業概要

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。

なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。

OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの点数により行います。

【受講者が当日用意するもの】

- 1.持参する端末
ノートパソコンを持参してください(タブレット、スマートフォンは不可です)。
- 2.OSの指定
Windows11が必要です。
- 3.ソフトのインストール
ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。Word、Excelが必要です。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

【その他(特記事項)】

心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

地域食農マネジメント

科目コード	2697173
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	地域食農マネジメント
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ミヤイ ヒロシ 宮井 浩志 (山口大学教授)
日程 実施時間	2026年10月17日(土)第1時限 09:30～11:00 2026年10月17日(土)第2時限 11:10～12:40 2026年10月17日(土)第3時限 13:30～15:00 2026年10月17日(土)第4時限 15:10～16:40 2026年10月18日(日)第1時限 09:30～11:00 2026年10月18日(日)第2時限 11:10～12:40 2026年10月18日(日)第3時限 13:30～15:00 2026年10月18日(日)第4時限 15:10～15:55 2026年10月18日(日)試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【山口学習センター】で行います。

授業概要

【授業内容】 グローバル化によって食料関連産業は世界的に寡占化が進み、我々を取り巻く食と農のあらゆる仕組みは「フードシステム」と呼ばれる新たな枠組みに統合されつつあります。その一方で、地産地消など食と農のローカル回帰に向けた運動が世界規模で高まりを見せつつあります。 本講義ではグローバル化下におけるフードシステムの仕組みや課題を理解した上で、そうした中での食や農を中心とした地域産業のマネジメントに関するケーススタディを行い、地域の食と農を今後どのように展開・統治していくべきかについて考える力を身につけます。
【到達目標】 グローバル化下における食と農のフードシステム化の現状や諸問題、それに対抗する地域資源を活かした地域産業のマネジメント手法を理解することができる。その上で、地域内のアクターによる共存・共生・共創を通じたよき食と農のマネジメントについての確に判断し、その展開方向について論じることができる。
【授業テーマ】 第1回グローバル化下におけるフードシステムの現状と問題 第2回食と農を取り巻く環境変化とマーケット 第3回地域課題とは何か：農山村地域を取り巻く現状と問題 第4回農業とは何か：園芸農業の構造と産地マネジメント 第5回地域資源と共同・共創の論理：経営学に基づくリソースと付加価値のマネジメント 第6回ケーススタディ：危機を契機としたソーシャル・イノベーションの事例 第7回ケーススタディ：地域と人間中心のマネジメントによる産地リノベーションの事例 第8回よき地域の食と農のマネジメントの展開に向けて
【学生へのメッセージ】 カンブリヤ宮殿やガイアの夜明けなど、最新の地域課題や地域の食・農関連企業を多く特集したTV番組を積極的に視聴するようにしてください。
【受講前の準備学習等】 自身の出身地や関心を持つ地域の地域資源、地域内の食農関連産業や企業についてあらかじめ調べてメモを作り、受講時に持参してください。
【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
【参考書】 ・地域産業の経営革新と流通・マーケティング戦略：地域産業の振興と地域創生(西田安慶・岡本純・岩本勇・河田賢一・丸山一芳／千倉書房／¥3,300／ISBN=9784805112984) ・地域産業の発展と主体形成：食と農、資源を活かす(北川太一／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595141348) ・フードシステムと日本農業(新山陽子／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595323454)
【その他(特記事項)】 8回目の講義後に最終レポートを作成・提出します。所定の用紙に手書きする以外に、持ち込んだスマートフォンやタブレット、パソコン(ノートPC推奨)でレポートを作成して提出しても構いません。ただし、学習センターには学生が使用できるプリンタはありませんので、キャンパスメールに作成したファイルを添付して提出します。提出先は授業当日に指示します。提出様式はMicrosoft Word(バージョンは問いません)、もしくはPDFファイル形式とします。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。また、端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

心理カウンセリング基礎演習

科目コード	2697165	授 業 概 要	【授業内容】 本授業では心理カウンセリングにおける基本的な考え方や技法について、講義だけではなく、ペアワークやグループワークの演習を通して理解することを目指します。特に、心理カウンセリングを行う土台となる、カウンセラー側である自分自身について理解を深めることを目指します。具体的には自分自身の自己表現のあり方、自分自身のストレス状態の把握や付き合い方について理解を深めます。 【到達目標】 心理カウンセリングを行う自分自身の心理ストレス状態を的確に把握することができるようになる。また、心理カウンセリングにおける自分自身の関わりの特徴(コミュニケーションの在りよう)を自覚することができるようになる。 【授業テーマ】 第1回オリエンテーション。心理カウンセリングについて(講義) 第2回ウォーミングアップ(演習) 第3回ストレスマネジメント(講義) 第4回ストレスマネジメント(演習) 第5回心理カウンセリングにおける自己表現(講義) 第6回心理カウンセリングにおける自己表現(傾聴)(演習) 第7回心理カウンセリングにおける自己表現(アサーション)(演習) 第8回まとめ(講義) 【学生へのメッセージ】 心理カウンセリングにおける基礎的な演習内容です。ペアワークやグループワークを行いますので、マナーを踏まえて、他の参加者と協力しながら、主体的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 この授業を受講する前に、学部科目「心理カウンセリング序説」等を受講するなど心理カウンセリングに関する知識をある程度得ておくことをお勧めします。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 【その他(特記事項)】
学習センター	山口学習センター		
学習センターコード	35A		
クラスコード	K		
科目名	心理カウンセリング基礎演習		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナカシマ マサオ 中島 正雄 (放送大学教授)		
日程 実施時間	2026年10月31日(土)第1時限 09:30～11:00 2026年10月31日(土)第2時限 11:10～12:40 2026年10月31日(土)第3時限 13:30～15:00 2026年10月31日(土)第4時限 15:10～16:40 2026年11月01日(日)第1時限 09:30～11:00 2026年11月01日(日)第2時限 11:10～12:40 2026年11月01日(日)第3時限 13:30～15:00 2026年11月01日(日)第4時限 15:10～15:55 2026年11月01日(日)試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	この授業は、【山口学習センター】で行います。		

パーソナルファイナンス

科目コード	2697181	授 業 概 要	【授業内容】 本授業の目的は、多様なライフスタイルの中でライフデザイン(個人の人生の価値観や目的)の重要性を理解するとともに、その実践手法であるライフプランニングを行う力を身に付けることです。本授業では「老後資金計画」と「相続・事業承継」を取り上げます。
学習センター	山口学習センター		【到達目標】 老後資金計画を立てることができるようになる。相続の基本と相続税が理解できるようになる。
学習センターコード	35A		【授業テーマ】 第1回老後資金計画 第2回相続と法律①: 相続と相続人、相続分、代襲相続 第3回相続と法律②: 遺産分割、相続の承認と放棄、遺言、成年後見制度 第4回相続と法律③: 演習 第5回相続税①: 相続税、相続税の課税財産、相続税の非課税財産 第6回相続税②: 債務控除、相続税の計算、相続税の申告、相続税の納付 第7回相続税③: 演習 第8回まとめ
クラスコード	K		【学生へのメッセージ】 アクティブラーニングとグループワークを取り入れた授業を行いますので、受講生の皆さんには積極的な参加を期待しています。
科目名	パーソナルファイナンス		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目区分	専門科目: 社会と産業		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
ナンバリング	320		【受講者が当日用意するもの】 電卓
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	マエダ ナオヤ 前田 直哉 (山口大学准教授)		【参考書】
日程 実施時間	2026年10月31日(土)第1時限 09:30～11:00 2026年10月31日(土)第2時限 11:10～12:40 2026年10月31日(土)第3時限 13:30～15:00 2026年10月31日(土)第4時限 15:10～16:40 2026年11月01日(日)第1時限 09:30～11:00 2026年11月01日(日)第2時限 11:10～12:40 2026年11月01日(日)第3時限 13:30～15:00 2026年11月01日(日)第4時限 15:10～15:55 2026年11月01日(日)試験・レポート等 15:55～16:40		【その他(特記事項)】 実習課題への取り組みやレポート課題のためにパソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。 学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。また、端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
実施会場	この授業は、【山口学習センター】で行います。		